

けんぽく農林ニュース

～「くだもの・きゅうり・花き王国の飛躍と農林業の持続的な発展」～

令和7年12月25日発行 第108号



田んぼの学校 稲刈り
二本松市「東和の布沢棚田」で二本松市立東和小学校5年生児童が稲刈り

～目次～

● 県北管内における野生のふきのとう出荷制限について	P 1
● 福島県優良建設工事表彰を受賞しました	P 2
● 「DATEC」後期もパワフルに活動中！	P 3
● 福島明成高等学校の生徒を対象にフレッシュ農業講座を開催しました	P 4
● 二本松実業高等学校の生徒を対象に令和7年度フレッシュ農業講座を開催しました！	P 5
● 第2回安達地域新規就農者向け研修会を開催しました！	P 6
● 新規就農者・就農希望者向け「農作業安全セミナー」を開催しました	P 7
● 地理的表示（G I）保護制度勉強会を開催しました！	P 8
● 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン（米）を開催しました	P 9
● 県北管内の生産者が福島県きのこ品評会で入賞しました	P 10
● 令和7年度県北地方特定家畜伝染病防疫演習を開催しました	P 11
● 令和7年度県北地方園芸振興セミナーを開催しました！	P 12
● 令和7年度食品表示法研修会を開催しました	P 13
● 「伊達地域有機農業相談会」を開催しました	P 14
● 「伊達のあんぽ柿」103年目の加工が始まりました	P 15
● 伊達地方のいちごの出荷が始まりました！	P 16
● 「田んぼの学校 かかしづくり」を行いました！	P 17
● 「田んぼの学校 稲刈り」を行いました！	P 18
● 安達地方指導農業士会が、おおたま稻刈りまつりを支援しました！	P 19
● 国見小学校の5年生が「天のつぶ」の稻刈りをしました	P 20
● 令和7年度県北地方植樹祭が伊達市で開催されました	P 21
● 令和7年度農家民宿視察研修会を開催しました	P 22
● 日本林道協会創立75周年記念林道功労者として大沼林産株式会社代表取締役の大沼貞生氏が林野庁感謝状を授与されました	P 23
● (お知らせ) けんぽく6次化ミーティング交流会を開催します	P 24
● (お知らせ) 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン（いちご）を開催します	P 25



県北管内における野生のふきのとう出荷制限について

12月になると、野生のふきのとうの発生が見られるようになりますが、福島市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町で採取したものは、出荷が制限されていますので、以下の点にご注意ください。

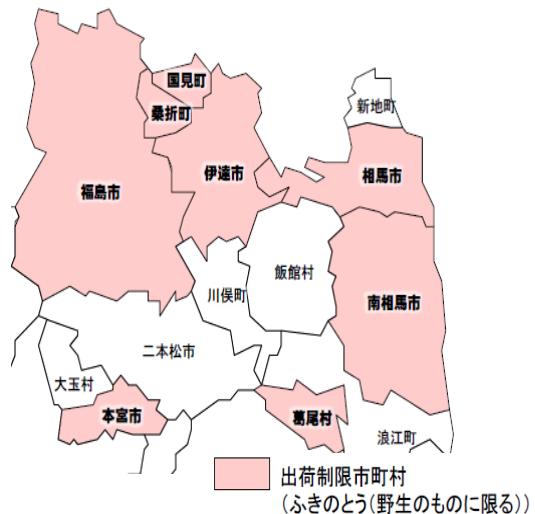
- (1) 店舗や料理店等への出荷はできません。
- (2) フリマアプリ、無人直売所等の個人売買もできません。
- (3) 加工品の原料としての使用もできません。
- (4) 他人への譲渡もお控えください。

また、二本松市、川俣町、大玉村で採取した野生のふきのとうについては、放射性物質の検査を受けていただく方へ予めご連絡をしますが、これまで県の検査を受けたことが無い方は、必ず検査が必要となりますので、当所まで検査申込みのご連絡をお願いします。

【担当部署：森林林業部林業課 電話：024-521-2632】



野生のふきのとう



野生のふきのとう 出荷制限位置

【担当部署】 森林林業部

【振興方向】 1 東日本大震災及び原子力災害からの復興加速化

福島県優良建設工事表彰を受賞しました

令和7年9月10日(水)、令和7年度福島県優良建設工事表彰式が、エルティ ウェディング・パーティ エンポリアムで行われました。優良建設工事表彰は、建設技術の向上と発展を目的として、他の工事の模範となるような優秀な工事に授与されます。

当所からは、佐藤工業株式会社が施工した「防災ダム0601工事大笹生3期地区」、株式会社本多組が施工した「治山施設(県営)0601工事上関場地区」が受賞しました。

防災ダム0601工事大笹生3期地区は、老朽化した大笹生ダム放水路の補修工事です。急峻で狭隘な現場で非洪水期という限られた工期の中、ダム関係者との綿密な調整を行い、滞りなく工事を完了した点、補修材の温度管理の工夫により優れた品質・出来栄えだった点などが評価されました。

治山施設(県営)0601工事上関場地区は、荒廃した渓流の浸食防止と保安林の機能回復を図る治山工事です。転石など現地発生材の利用やコンクリート構造物の寸法精度確保のために工夫した点、地形に馴染んだ出来栄えなどが評価されました。

発注者である当所でも複数部門での受賞は大変喜ばしく、今後も農林水産土木工事の品質確保に向け、監督業務等にまい進していきます。



防災ダム0601工事大笹生3期地区



治山施設(県営)0601工事上関場地区

【担当部署】農村整備部・森林林業部

【振興方向】2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

「DATEC」後期もパワフルに活動中！

伊達地域の青年農業者組織「DATEC」は、地域の農産物等のPR・販売促進のため、令和7年9月22日（月）～23日（火）、東京都有楽町駅前広場で開催された販売イベント「ふくしままるごとフェア」に出店しました。

イベントでは、桃や日本なし、ぶどう、きゅうり、ドライフルーツや味噌、ジュース等幅広い商品を販売し、DATEC会員自らが伊達地域の農産物や6次化商品の魅力を直接消費者に伝えることで、消費拡大につなげることができました。

また、令和7年10月18日（土）～19日（日）に福島県あづま総合運動公園で開催された「LIVE AZUMA」でも、DATEC会員が生産した農産物や、野菜を厚切り牛タンと一緒に味わって楽しむことができるプレートなどを販売し、会場を盛り上げました。

他にも、会員自ら茨城県つくば市にある研究機関「農研機構」での研修を企画し、会員の知識習得や技術向上を図り、消費者の方々により美味しい農産物をお届けできるよう研鑽を積んでいます。

DATECは、今後も県内外で開催される販売イベントに積極的に参加し、伊達地域の農産物のPRや活動の情報発信を行っていきます。

当普及所では、引き続き活気ある青年農業者組織の活動を支援し、地域を支える担い手の確保・育成に取り組んでいきます。



「ふくしままるごとフェア」での販売



「ふくしままるごとフェア」で販売された
様々な農産物



「LIVE AZUMA」で調理・販売を行った
DATEC会員



「農研機構」で研修を受講

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

福島明成高等学校の生徒を対象にフレッシュ農業講座を開催しました

令和7年10月2日(木)、フレッシュ農業講座を開催しました。

この講座は、農業高校と連携し、高校生と先進的な農業者との交流の機会創出により、職業選択に農業を含めてもらえるよう、高校生の意識を啓発することをねらいとしています。

当日は、福島明成高等学校2学年の生徒約70名を対象に、バスツアー形式で管内農業者への視察を実施しました。バスツアーは生徒の専攻に応じて、(1)作物と畜産のコース、(2)野菜と果樹のコース、(3)草花のコースの3班編成で実施しました。実際の訪問先では、(1)株式会社穂之和元気ファームと特定非営利活動法人福島農業復興ネットワーク ミネロファーム、

(2)株式会社新ふくしまファームと株式会社 ABE Fruit、そして(3)廣野勝久氏宅で、それぞれ経営状況の説明を受けるとともに、ほ場や施設見学をしました。

参加した生徒からは、学校では見ることのできない実際の現場に対し、「勉強になった」という生の声や、農業への関心の高まり、または難しさの実感など、様々な反応がありました。就農や農業インターンシップを希望する声も多数あったことから、当所では引き続き高校と連携し、就農に繋がる支援を続けていきます。



穂之和元気ファーム視察の様子



ミネロファーム視察の様子



新ふくしまファーム視察の様子



ABE Fruit 視察の様子



廣野勝久氏視察の様子

【担当部署】農業振興普及部

【振興方向】2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

二本松実業高等学校の生徒を対象に令和7年度フレッシュ農業講座を開催しました！

令和7年10月21日（火）、県立二本松実業高等学校及び地元農家の小麦ほ場で、同校1学年（4学科119名）を対象として「フレッシュ農業講座」を開催しました。

この講座は、若い世代に農業の魅力を伝え、担い手確保に繋げる目的で毎年開催しており、今年は同校のカリキュラム「総合的探究の時間」と連携し、「見て、触れて、学ぼう スマート農業」をテーマに掲げ、地元農家や県内企業、（公社）福島相双復興推進機構、JAふくしま未来の協力をいただき「農業用ドローン実演（イームズロボティクス株式会社）」・「アシストスーツの試着体験（株式会社菊池製作所）」・「ワイドスプレッダーの実演（地元農家の野地氏・株式会社ビコンジャパン）」の3本立てで、さらに会場移動のバス車中のJAふくしま未来による農業講話といった充実した内容となりました。

いずれの講座も生徒は真剣に受講し、なかでもワイドスプレッダーの自動可変施肥の実演では、スピードと正確性に驚嘆する一方で、生徒による肥料の手散布体験の比較を通して農作業の大変さや難しさにも理解を深めていました。

生徒へのアンケートでは「スマート農業によって初心者でも上手に農作業ができることに、技術の進歩を感じた」「今の農業機械が農家の負担を減らすことを知ることができ、地元農業への興味が高まった」など、農業への興味・関心の声が数多く寄せられました。



ドローン実演



アシストスーツ試着体験



化成肥料の手散布体験の様子



トラクター試乗の様子

【担当部署】安達農業普及所

【振興方向】2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

第2回安達地域新規就農者向け研修会を開催しました！

令和7年10月27日(月)、矢吹町の福島県農業総合センター農業短期大学校(アグリカレッジ福島)で「第2回安達地域新規就農者向け研修会」を管内市村、JAふくしま未来等の協力のもと開催しました。

研修会には、安達地域の新規就農者・就農研修生4名が参加し、アグリカレッジ福島の職員による農作業安全の講義と刈払機の点検・正しい操作方法の実演を通して、安全な農作業への理解を深めました。

参加者からは、「刈払機の正しいメンテナンス方法を知ることができた」「農作業事故を起こさないように気をつけたい」などの感想がありました。

当普及所では、新規就農者や就農研修生のさらなるスキルアップを図るため、関係機関・団体と協力して、農業経営に活かせる知識・技術習得の研修を引き続き行っています。



刈払機点検作業の講義



刈払機実技見学

【担当部署】 安達農業普及所

【振興方向】 2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

新規就農者・就農希望者向け「農作業安全セミナー」を開催しました

令和7年11月21日（金）、株式会社マキタ福島営業所（二本松市）で、当所主催、福島市、川俣町、JAふくしま未来の協力により、「令和7年度福島・川俣地域新規就農者研修会（全3回）」の第1回「農作業安全セミナー」を開催しました。この研修会は、新規就農者と就農希望者が安心して営農を開始し、持続的に発展していくよう支援することを目的として開催しており、新規就農者11名の参加がありました。

当所の担当者が農作業安全について講義した後、株式会社マキタ福島営業所からバッテリの安全な使用方法等について講義をいただくとともに、バッテリ式農業機械（刈り払い機、運搬車、チェーンソーなど）の実際の使用感や使用時の注意点などを、実演により説明いただきました。受講生からは、不明なことや栽培品目に適しているかなどの質問もあり、真剣に受講する姿が印象的でした。

令和7年12月12日（金）に株式会社日本曹達仙台営業所の小谷氏、当所職員を講師として第2回「農薬・GAP基礎セミナー」を行い、令和8年1月下旬に第3回「農地・税務・資金に関する基礎セミナー」を開催する予定です。当所では、これからも新規就農者と就農希望者を対象とした支援を継続し、地域農業の発展に貢献していきます。



バッテリの安全な使い方の講義の様子



バッテリ式農業機械の実演の様子

【担当部署】 農業振興普及部

【振興方向】 2 農林業の持続的な発展を支える担い手の確保・育成と生産基盤の強化

地理的表示（G I）保護制度勉強会を開催しました！

令和7年10月8日（水）、県庁西庁舎で「地理的表示（G I）保護制度勉強会」を開催しました。

当日は、日本地理的表示協議会G Iアドバイザーの横田 純子氏を講師に迎え、「福島ならでは」の農林水産物ブランド力強化に係る産地ワーキンググループ（県北・もも）の構成機関・団体である市町村、JAふくしま未来等の担当者が参加し、産地ブランド力強化に向けた取組として活用が期待できる地理的表示（G I）保護制度に対する理解を深めました。

本制度登録により、海外での模倣品対策のコスト低減が図れるメリットもあることから、東南アジアを中心に輸出されている「県北のもも」での活用について、参加者からは熱心な質問が出され、有意義な勉強会となりました。

当所では今後も、産地ワーキンググループにおいて、県北のももの振興に向け、ひとつひとつ取組を進めていきます。

地理的表示（G I）保護制度とは？

地域ならではの気候・自然環境・伝統的な取組などによって育まれた特性をもつ産品の名称（地域ブランド）を地域の知的財産として保護する制度です。県北地方では「川俣シャモ」「伊達のあんぽ柿」が登録されています。



横田講師による GI 保護制度説明



勉強会の様子

【担当部署】 農業振興普及部

【振興方向】 3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン（米）を開催しました

令和7年10月18日（土）、「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン（米）を、あだたらの里直売所前大玉村ふれあい広場で開催しました。

今回は、ふくしまライシーホワイトの渡辺さんに協力いただき、来場者に、福島県オリジナル水稻品種「福、笑い」と「天のつぶ」のおにぎりを配布し、その美味しさと特徴を味わっていただきました。その他、お米クイズやG A PのP R、協力いただいたアグリビジネス・ネットワークあだちの農産物や加工品の販売など消費拡大、地産地消を推進しました。

当日は、初めて同一会場でふくしま産直フェアが開催され、盛り上りました。

来場者の皆様には、秋の一日を楽しんでいただき「福、笑い」と県産農産物の魅力を届けることが出来ました。

今後も、地域の農業、農産物をP Rしていきます。



「福、笑い」と「天のつぶ」食べ比べ



各種キャンペーンの様子

【担当部署】企画部

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

県北管内の生産者が福島県きのこ品評会で入賞しました

10月 23日(木)、きのこの品質の向上と需要の拡大を促進し、きのこ産業の発展に寄与することを目的とした令和7年度福島県きのこ品評会が公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会の主催により開催されました。生しいたけ(原木栽培・菌床栽培)、乾しいたけ、なめこ及びひらたけの各部門で、県内から100点以上の出品があり、県北地域からは、下記の5名の方が受賞されました。受賞された皆様、誠におめでとうございます。

<生しいたけの部 菌床栽培部門>

福島県農業協同組合中央会会长賞・・・山田康人氏(福島市)

<生しいたけの部 原木栽培部門>

福島県きのこ振興協議会会长賞・・・牧野善治氏(伊達市)

<乾しいたけの部>

福島県きのこ振興協議会会长賞・・・山田としい氏(福島市)

<なめこ・ひらたけの部>

日本特用林産振興会会长賞・・・斎藤善夫氏(伊達市)[ひらたけ]

福島県森林組合連合会代表理事長賞・・・佐藤健一氏(二本松市)[ひらたけ]

毎年の猛暑により、まだ木や菌床の管理が年々難しくなる中、散水及び換気等の暑さ対策や、種菌品種の検討等の努力により、今回の受賞となりました。

当所では今後も、県北地域のきのこ産業の発展に向け、生産者の皆様と協力し、取り組んでいきます。



山田康人さんの生しいたけ



牧野善治さんの生しいたけ



山田としいさんの乾しいたけ



斎藤善夫さんのひらたけ



佐藤健一さんのひらたけ

【担当部署】森林林業部

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

令和7年度県北地方特定家畜伝染病防疫演習を開催しました

令和7年10月28日(火)、福島市松川学習センターで「令和7年度県北地方特定家畜伝染病防疫演習」を開催しました。

本演習は特定家畜伝染病の発生を想定し、県北地方対策本部職員の対応能力向上及び関係機関との連携強化を図ることを目的に毎年開催しており、当日は県北管内の市町村、団体、警察署、県建設業協会、関係機関の職員105名が参加しました。

座学では、特定家畜伝染病の基本から、防疫措置の初動対応や具体的な現場作業内容について、当所及び県北家畜保健衛生所から説明を行い、防疫措置への理解を深めていただきました。

体験型防疫演習の「集合センター」では、市町村職員10名に動員者役として協力頂き、動員者の受付から、防護服等の着脱、手荷物受払い等を実演しました。「農場隣接テント及び農場」では、防護服等の着脱に加え、福島県一般高圧ガス協会からガスボンベの取扱い及び注意点について説明いただき、鶏の模型を使用した捕鳥、運搬、殺処分、搬出等を実演して、作業内容を確認しました。

当所では、今後とも関係機関・団体と連携を密にし、万が一特定家畜伝染病が発生した場合に万全な体制がとれるよう引き続き取り組んでいきます。



座学の様子



集合センターでの防護服の着用



模型を使った捕鳥

【担当部署】農業振興普及部

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

令和7年度県北地方園芸振興セミナーを開催しました！

令和7年11月11日(火)、JA福島ビルで、当所と県北地方新たなるふくしまの未来を拓く園芸振興推進会議の共催により、「令和7年度県北地方園芸振興セミナー」を開催しました。

本セミナーは園芸品目の振興を目的に毎年開催しており、今回は「温暖化に伴う果樹害虫の生態の変化及び防除対策」をテーマに開催し、生産者や関係機関・団体職員等92名の参加がありました。

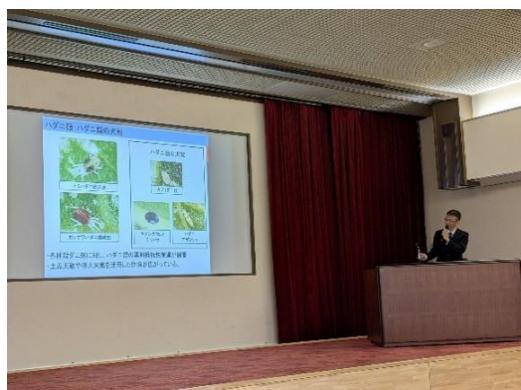
セミナーでは、公益社団法人福島県植物防疫協会業務執行理事の佐々木正剛氏から「果樹カメムシ類及びハダニ類等の生態と温暖化に伴う変化」、埼玉県農林部本庄農林振興センター技術普及担当部長の浅野亘氏から「埼玉県における果樹害虫対策の実態」、山梨県農政部果樹試験場環境部病害虫科主幹研究員の村上芳照氏から「山梨県における果樹害虫の対策」と題して講演が行われました。温暖化に伴う害虫発生の増加とその対策、埼玉県における果樹栽培状況や現場で普及している防除方法、山梨県におけるカイガラムシ類等の生態・対策及び試験研究結果について講演いただきました。また、農業総合センター果樹研究所病害虫科 阿部研究員から「福島県における果樹害虫の対策」と題し、本県の最新の試験研究について紹介がありました。

参加者から、現地でのカメムシ発生状況の報告やカイガラムシ類の対策方法などの多くの質問があり、「果樹害虫対策」への関心の高まりが感じられるセミナーとなりました。

当所では引き続き、生産者、関係機関・団体と連携し、課題となっている果樹害虫対策を支援し、管内の果樹の生産安定・品質向上に向けた普及活動を継続して行なっていきます。



講演の様子（山梨県 村上芳照氏）



講演の様子（埼玉県 浅野亘氏）



質疑応答の様子

【担当部署】農業振興普及部

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

令和7年度食品表示法研修会を開催しました

令和7年11月14日（金）、「食品表示法研修会」をキヨウワグループ・テルサホール（福島テルサ）会議室「あづま」で開催しました。県北地方を中心に、農産物の加工・販売事業者、農産物直売所関係者、菓子や総菜等を扱う食品関係事業者など、33名の参加がありました。

食品の表示は、消費者が食品の内容を正しく理解し、選択したり、安全性を確認する上で重要であり、定められたルールに基づき行う必要があります。

研修会では、当所職員から「品質事項」（名称、原料原産地表示等）について、県北保健所職員から「衛生事項」（添加物、アレルギー、期限表示等）と「保健事項」（栄養成分表示等）について講義を行いました。

開催後の参加者アンケートでは、「食品表示について学ぶ機会が無かったので、良かった」「栄養成分表示や品質事項について、もっと詳しく聞きたかった」などのご意見をいただきました。

当所では、事業者の方々からの個別相談への対応や研修会の開催を通じて、引き続き食品表示の適正化を推進していきます。



講義を熱心に聞く参加者の皆様

【担当部署】企画部

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

「伊達地域有機農業相談会」を開催しました

令和7年11月26日（水）、伊達合同庁舎で、「伊達地域有機農業相談会」を福島県農業総合センター 有機農業推進室と当普及所が共同で開催しました。

本相談会は、有機農業に関心がある方に対し、県内の有機農業実践事例や有機農産物の生産に使用できる資材、有機JAS制度等について参加者へ情報共有することで、有機農業志向者の掘り起こしと取組拡大を促進することを目的に実施しました。

当日は農業者2名の参加があり、「有機JAS認証の取得までにかかる期間や出荷先について知りたい」「環境にやさしい農業に興味があり、将来的に有機JAS認証を取得してみたい」といった相談や要望がありました。

当普及所では、引き続き関係機関と連携し、有機農業をはじめとした環境と共生する農業を推進していきます。



熱心に質問する相談者

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

「伊達のあんぽ柿」103年目の加工が始まりました

今年も伊達地方の冬の特産品「伊達のあんぽ柿」の加工が始まりました。伊達のあんぽ柿は、鮮やかなオレンジ色の果肉と、柔らかく口当たりの良い食感、そして上品な甘みが特徴です。伊達のあんぽ柿は、大正時代に伊達市梁川町五十沢地区で生産技術が確立され、大正12年（1923年）には、五十沢あんぽ柿出荷組合が設立され、加工が本格化し、今年で103年目となります。令和5年1月31日には地理的表示（G I）保護制度の登録を受けました。

あんぽ柿の原料柿園地では、収穫作業が11月15日頃にピークを迎えるました。各あんぽ柿生産者の加工場や、JAふくしま未来が運営するあんぽ柿加工選別包装施設「あんぽ工房みらい」では、原料柿の皮むき、連作り、硫黄くん蒸、乾燥という一連の加工作業が行われています。今年のあんぽ柿の出荷は11月中旬頃より順次開始しています。ぜひ「福島の冬の味覚」をお楽しみください。

※12月、1月、2月の13日は「伊達のあんぽ柿の日」です。



あんぽ工房みらいにおける皮むき作業



あんぽ工房みらいにおける乾燥工程

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

伊達地方のいちごの出荷が始まりました！

今年も、伊達地方の冬季を代表する「いちご」の出荷が、令和7年11月上旬より順次始まりました。令和7年3月から、令和7年度産の育苗が開始され、約8か月もの間、生産者の方々が「多くの方に美味しいいちごを食べてほしい」という思いを込めて管理しました。

「いちご」は豊富な栄養素を兼ね備えており、特に果実の中でもトップクラスのビタミンCを含んでいます。ビタミンCは抗酸化作用により血管や臓器の老化予防、美肌効果、免疫機能を高める等の効果が期待できます。

また、福島県が10年もの歳月をかけて開発し、デビューして今年で4年目となる県オリジナル品種「ゆうやけベリー」も、出荷時期を迎えています。品種名の由来にもなった「大空を真っ赤に染める夕焼けのように、口いっぱいに幸せが広がる」のように、見た目は綺麗な赤みで、食べると甘みが強く、食べ終わった後も香りが残るのが特徴です。

「ゆうやけベリー」をはじめ、様々な品種の「いちご」をぜひお楽しみください！



「ゆうやけベリー」の収穫



いちごのパック詰めは職人技です！

【担当部署】 伊達農業普及所

【振興方向】 3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

「田んぼの学校 かかしづくり」を行いました！

令和7年9月5日（金）、「田んぼの学校」実践モデル校の二本松市立東和小学校の5年生児童31名が、布沢の環境を守る会の協力のもとかかしづくりを行いました。

はじめに、かかしづくりのポイントを布沢の環境を守る会代表菅野正寿さんから説明していました。

かかし本体の中心は、木材で組み立てるため布沢の環境を守る会の方々に伝ってもらいました。その本体へ、古着に綿を入れて作った頭や手足を順番に取り付け、徐々にかかしの形になっていき、仕上げに顔に目や口を入れて、帽子をかぶせて完成しました。お互い班同士が出来栄えを比べ合ったり、どんなふうに作ったかの話しをしながら楽しくかかしを作ることが出来ました。

代表児童から「かかしを作るのは初めてだったけど、みんなで作って楽しかった。デザイン通り出来て良かった」などの感想がありました。

最後に菅野さんから、かかしの意味や役割についての話を聞いていただきました。漢字では「案山子」と書き、山の神の「子供」と言い、今年も良い米が実ったことに、自然への恵みに感謝する意味もあると説明していただきました。



かかしづくり開始



なかなか難しい



もう少しで完成



完成した かかし

【担当部署】 農村整備部

【振興方向】 4 豊かな農山村の形成と活性化

「田んぼの学校 稲刈り」を行いました！

令和7年9月12日（金）、「田んぼの学校」実践モデル校の二本松市立東和小学校の5年生児童31名が、つなぐ棚田遺産に選定されている「東和の布沢棚田」で布沢の環境を守る会の協力のもと稲刈りを行いました。

当日は、小雨模様となりましたが、布沢の環境を守る会の方々が準備してくださったおかげで稲刈りを行うことができました。

児童は、はじめ鎌を扱うのが大変そうでしたが、徐々に慣れてきて、大きな歓声をあげながら楽しく稲刈りを行っていました。刈った稻を束ね、児童達が1列に並んで束ねた稻を順番に渡し、はせ掛けを行いました。泥だらけになりながらも楽しく作業ができました。

稲刈り後、代表児童から「稻刈りは初めてで大変だったけど慣れてきて楽しかった。」「初めてだったけど楽しく出来て良かった。」等の感想発表がありました。

布沢の環境を守る会代表菅野正寿さんから講評があり、「今年は、暑く雨が少なかったため水不足を心配したが、この地区は水不足もなく、稻は良く育ってくれた。この田んぼからは、新聞紙1枚あたりの面積で、おにぎり3個が作れる米の量が収穫出来るので、田んぼ全体の面積だと約4,500個のおにぎりが作れると思います。」との話ををしていただきました。



稲刈り開始



手刈りは、大変



はせ掛け完了



稲刈り楽しかったです

【担当部署】 農村整備部

【振興方向】 4 豊かな農山村の形成と活性化

安達地方指導農業士会が、おおたま稻刈りまつりを支援しました！

令和7年9月15日（月）、あだたらの里「福、笑い」研究会の主催により「第3回農業体験教室おおたま稻刈りまつり」が開催されました。

このイベントは、安達地方指導農業士会が田植えの準備や苗づくりから支援しているもので、当日は、指導農業士3名と地元の生産者が、鎌での手刈りや昔ながらの稻架掛けを指導して、子供たちを含む多くの参加者が楽しく稻刈り体験をしました。

安達地方指導農業士会の橋本清徳会長は「農業は、後継者不足から年々生産者が減少しています。安達地方指導農業士会では、農業に興味を持つてくれる人を増やし、地域の農業を子々孫々まで盛り上げていくための活動を行っていきます。」と意気込みをお話しされました。これからも、安達地域の農業を盛り上げる指導農業士の活躍に注目してください！



安達地方指導農業士の方々



おおたま稻刈りまつりの様子

【担当部署】 安達農業普及所

【振興方向】 4 豊かな農山村の形成と活性化

国見小学校の5年生が「天のつぶ」の稲刈りをしました

令和7年9月22日（月）、国見小学校の学校田で、農業や農作物への理解を深め、食の恵みや豊かさ大切さを伝えるため、国見小学校5年生児童を対象とした農業体験学習（稲刈り作業）が開催されました。

この学校田は、令和7年5月14日（水）の農業体験で児童が田植を行い、地域の中心的な担い手である小坂アグリ株式会社が管理をしました。

実りを迎えたお米（福島県オリジナル品種「天のつぶ」）を、関係機関・団体・当普及所職員のサポートにより、児童達が手刈りによる収穫を行いました。

児童達は、稲刈り前に鎌の使い方等の説明を受けた後、稻刈り鎌を使った刈取と刈り取った稻の結束作業、ほ場内での杭掛け作業までの一連の作業を体験しました。

代表児童からは、「初めのうちは刈るのも紐を結ぶのも難しかったけど、だんだんできるようになって、楽しかった。」等の感想や、「お米を残さず食べようと思った」等の生産への感謝の言葉が述べられました。

当普及所では、今後も、関係機関と連携しながら安全・安心な米作りや食育活動を支援していきます。



収穫前の学校田



稲刈り前に説明を行う小坂アグリ（株）代表



収穫作業を行う児童たち



講評を行う伊達農業普及所長

【担当部署】伊達農業普及所

【振興方向】4 豊かな農山村の形成と活性化

令和7年度県北地方植樹祭が伊達市で開催されました

令和7年10月23日(木)、伊達市緑化推進委員会の主催により、令和7年度県北地方植樹祭が伊達市で開催されました。

県北地方植樹祭は、県北地方の市町村の持ち回りで、毎年開催しています。今年度は四季折々の自然を楽しめ、ミニSLが子どもに人気のやながわ希望の森公園で開催されました。

県北地方の市町村等関係者や、伊達市立掛田小学校緑の少年団、伊達市立梁川小学校ボランティア委員会の児童らにより、ケヤキ、ハナミズキ、ライラック及びイタヤカエデの4種類、計7本の植樹が行われました。植えた木々は大きく育ち、来園者を色とりどりの花や葉により楽しめてくれることでしょう。

当所では今後も、森林づくりへの理解を深め、森林づくりの意識を高める活動を支援していきます。



式典の様子



植樹の様子

【担当部署】 森林林業部

【振興方向】 4 豊かな農山村の形成と活性化

令和7年度農家民宿視察研修会を開催しました

令和7年11月13日（木）、山形県米沢市で令和7年度農家民宿視察研修会を開催しました。

本研修会は、教育旅行等の受け皿として農家民宿間の連携強化を図ることを目的とし、県北地方の農家民宿経営者等25人が参加しました。

視察研修では、「農家民宿 善左工門」を訪問し、最上川源流の里関グリーンツーリズム推進協議会の会長である経営者の岡崎利勝氏から、教育旅行の受入の取組や民宿経営概要について、米沢市役所及び一般社団法人米沢観光コンベンション協会の担当者から民宿振興における協議会の役割についてお話をいただき、質疑や意見交換等を行いました。

その後、体験活動では、 笹野民芸館で「お鷹ぼっぽ絵付け体験」を行いました。

研修会終了後に実施したアンケートでは、「本研修会が大変参考になった」「実際に宿泊体験をしたい」や「体験活動が楽しかった」「伝統の技に触れることができた」などの意見や感想が寄せられました。

今回の研修会が、県北地方の農家民宿経営者の方々の経営の参考となることを期待します。

当所では、今後、農家民宿交流会の開催を予定しており、引き続き、グリーンツーリズム等の交流活動を支援していきます。



視察研修の様子



講師の農家民宿善左工門 岡崎氏



体験活動の様子（1）



体験活動の様子（2）

【担当部署】企画部

【振興方向】4 豊かな農山村の形成と活性化

日本林道協会創立 75 周年記念林道功労者として大沼林産株式会社代表取締役の大沼貞生氏が林野庁感謝状を授与されました

令和7年11月19日(水)、大沼林産株式会社代表取締役の大沼貞生氏が一般社団法人日本治山治水協会と日本林道協会が主催する日本林道協会創立75周年記念林道功労者の表彰において、林野庁長官感謝状を授与されました。

同氏は林道事業の発展と向上に功労があったことに加え、本県の林道事業等を推進した取組や森林土木事業に貢献した活動、森林整備を含め地域の林道整備を積極的に牽引してきた業績が高く評価されたものです。

同氏には引き続き、林道事業の推進や普及、後進への技術的指導が期待されます。



大沼貞生氏と宍戸所長

【担当部署】 森林林業部

【振興方向】 4 豊かな農山村の形成と活性化

(お知らせ) けんぽく 6次化ミーティング交流会を開催します

6次化に取り組む生産者・事業者の加工技術の向上、新商品の開発、事業者間の交流やマッチング等を促進するため、けんぽく 6次化ミーティング交流会を開催します。今回は、地域資源を活かした6次化商品の販路拡大を見据え、「ブランド戦略」をテーマにしました。

けんぽく 6次化ミーティング会員、6次化や農商工連携に関心のある農林漁業者及び加工業者の皆様の御参加をお待ちしております。

1 日時 令和8年2月5日（木）13：30～16：00

2 会場 キヨウワグループ・テルサホール（福島テルサ）3階大会議室「あぶくま」

3 内容

（1）講演

「売れる商品のブランド戦略の基礎」

講師：合同会社楽膳 代表 大竹 愛希 氏

（2）グループワーク

商品を題材にした課題に取り組みながら、グループ単位で意見交換を行い、参加者間の交流を深める。

（3）関連事業の紹介

情報提供：ふくしま地域産業6次化サポートセンター、県産品加工支援センター 等

4 参加費 無料

5 申込・問合せ先

福島県県北農林事務所 企画部地域農林企画課

電話：024-521-2596

FAX：024-521-2850

メール：kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp



令和6年度の交流会の様子



【担当部署】企画部

【振興方向】4 豊かな農山村の形成と活性化

(お知らせ) 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン（いちご）を開催します

県内の消費者に直接、県産農林水産物の美味しさ等の魅力を伝えるとともに、県北地域の農産物や加工品を紹介し、消費拡大と地産地消の推進を図るため、令和7年度第3回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン（いちご）を開催します。

今回は、収穫の最盛期を迎える「ゆうやけベリー」の美味しさや魅力をPRします。県が10年もの歳月をかけて開発した、大粒で甘い「ゆうやけベリー」の試食を行う予定ですので、見て・味わって、実際に感じてみてください。

日時：令和8年2月8日（日）10:00～（予定）

場所：道の駅伊達の郷りょうぜん
是非お越しください！

なお、キャンペーンの開催内容の詳細については、当所ホームページ及び公式インスタグラムに随時投稿していきますので、チェックしてみてください。



ゆうやけベリー①



ゆうやけベリー②

【担当部署】企画部

【振興方向】3 安全で魅力的な農林産物の安定供給と販売促進

～随時、情報を発信しています～

当所では、農林水産部公式Youtubeチャンネル、ホームページ、SNS（インスタグラム）で、県北地方の食と農、農林業と農山村に関する情報を随時発信していますので、どうぞ御覧ください。
農林水産部公式
Youtubeチャンネル



編集・発行 福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

